令和5年度九州地区高等学校通信制教育研究会 総会並びに研究協議会 (鹿児島大会) 実施報告書

	令和5年度九州地区高等字校通信制教育研究会 総会並OVC研究協議会(鹿児島大会) 美施報告書			
事項	内容			
事業名	令和5年度九州地区高等学校通信制教育研究会 総会並びに研究協議会 (鹿児島大会)			
期日	令和5年11月16日(木)~令和5年11月17日(金)			
開催場所	かごしま県民交流センター			
主催	九州地区高等学校通信制教育研究会 (鹿児島県教育委員会)			
	鹿児島県高等学校定時制通信制教育振興会 (公財)日本教育公務員弘済会鹿児島支部			
後援	NHK NHK出版 NHK鹿児島放送局			
参加者	15校 85名 (来賓、NHK、NHK出版等含む)			
	高等学校の通信教育における諸問題について、相互理解を図るとともに、調査・研究・協			
実施目的	議を通じて通信教育の発展に寄与する。			
	令和5年11月16日 (木)			
	秋季連絡会(管理職)(10:00~12:00) 24 名			
	教務主任会(10:00~12:00) 11 名			
	分科会打合会(会場責任者・司会者・発表者・記録者)(11:00~12:00) 15名			
実施内容	開会式・総会(13:00~13:30)			
	[記念講演] (13:40~15:00)			
	オフィスバーバラ代表 バーバラ植村 氏			
	演題:「前向きに生きるために」			
	[研究協議会] (15:10~17:00)			
	第1分科会(運営・教務) 27名 第2分科会(国語) 6名			
	第3分科会(地歴・公民) 6名 第4分科会(保健体育)6名			
	第5分科会(放送教育) 16名			
	教育懇談会 (18:30~20:30) 70名			
	令和5年11月17日(金)			
	[研究協議会] (9:00~10:40) 上記 5 分科会			
	全体会(分科会報告)(10:50~11:30)			
参加費	閉会式 (11:35~11:50) 加盟校:7,000円 (参加費 3,000円・資料代 4,000円)			
沙川 頂	加温校: 1,000 円 (参加資 3,000 円・資料 (4,000 円) 1 日目の秋季連絡会及び教務主任会では、それぞれの協議題について熱心に話し合いが行われた。また分科会打合せ			
	1 日日の秋学連絡会及の教務主任会では、それでれの協議題について熟いに話し合いが行われた。また分科会打合せ会では、午後からの分科会の進め方や発表機器の確認がなされた。午後からの総会では、令和4年度会務報告・			
	会には、一度からの方科会の進め方や完衣機器の確認がなされた。一度からの総会では、市和4年度会務報告・ 決算報告、令和5年度会務計画案・予算案が特に問題なく承認された。記念講演ではオフィスバーバラ代表、バ			
	一バラ植村氏(歌手AIさんのお母様)にご講演いただいたが、「新時代に対応した通信制教育の可能性を探る」			
	という今大会の研究主題に合致する素晴らしい内容で、生徒との関わり方のヒントをご教授いただいた。その後			
	の分科会では、それぞれのテーマに基づいた発表があり、その発表内容等について研究討議がなされた。			
成果	2日目は前日から引き続き分科会が開かれ、鹿児島県教委指導主事、全通研放送教育委員から指導助言、全体会では			
	分科会報告があり、その後、全体を総括して全通研事務局長(小宮山様)から観点別評価の考え方等の指導助言			
	をいただいた。2日間を通して通信制に通う生徒の学習環境や評価の在り方,また分科会によってはGIGAス			
	クール構想の取組等の協議もなされ、実り多い4年振りの対面での開催が終了した。			
	2 - Hard Scholard S Month O or Carel 2002 5 - T. Line 2 - Shilling and L. Shil			







分科会	分野·教科	発表学校名	発表テーマ等
第1	運営・教務	長崎県立 佐世保中央高等学校	観点別評価とレポート作成に関する取組
第2	学習指導 (国語)	宮崎県立 延岡青朋高等学校	"広く浅く"にならないようなレポート作成を目指して (言語文化;小説編)
第3	学習指導 (地歴公民)	長崎県立鳴滝高等学校	主体的な学びへ導く「地理総合」の報告課題づくり 及び授業実践の工夫
第4	学習指導 (保健体育)	大分県立 爽風館高等学校	本校の現状を踏まえて体育実技のあり方を考える 〜生徒への体育スクーリングアンケートを通して〜
第5	放送教育	沖縄県立 泊高等学校	放送教育~本校の現状と課題~
講演会	講師名(所属・職名)		講演題
	バーバラ植村 (オフィスバ	・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「前向きに生きるために」